

新規試用医薬品(平成23年9月薬事検討委員会)

グラクティブ錠 25mg、100mg

グルベス配合錠

リパクレオンカプセル 150 mg

コソプト配合点眼液

バイエッタ皮下注 5、10 µg

ハラヴェン静注 1mg

ムコダインシロップ 5% ()

シナジス筋注用 50mg ()

()の薬品は、平成23年9月20日の薬事委員会にて採用薬品となりました。

薬品名	処 グラクティブ錠 25mg、100mg glactiv	メーカー	小野薬品
		申請科	内科
規格	25mg、100mg/錠	一般名	シタグリブチンリン酸塩水和物
効能・効果	2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 食事療法、運動療法のみ 食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用 食事療法、運動療法に加えてチアゾリジン系薬剤を使用 食事療法、運動療法に加えてピグアナイド系薬剤を使用 食事療法、運動療法に加えて -グルコシダーゼ阻害剤を使用 食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用		
用法・用量	通常、成人にはシタグリブチンとして50mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら100mg1日1回まで増量することができる。		
使用目的及び理由	25mg 錠は腎機能低下例での減量(50mg 錠は分割できない)、100mg 錠は効果不十分例での増量(100mg 錠の薬価は 50mg 錠の 1.5 倍で安価)で使用する。		
その他	院外処方限定の使用		

薬品名	処 グルベス配合錠 glubes	メーカー	キッセイ
		申請科	内科
規格	ミチグリニドカルシウム水和物10mg / ボグリボース0.2mg	一般名	ミチグリニドカルシウム水和物 / ボグリボース
効能・効果	2型糖尿病 ただし、ミチグリニドカルシウム水和物及びボグリボースの併用による治療が適切と判断される場合に限る。		
用法・用量	通常、成人には1回1錠(ミチグリニドカルシウム水和物 / ボグリボースとして10mg/0.2mg)を1日3回毎食直前に経口投与する。		
使用目的及び理由	グルファスト錠とベイスン錠の合剤であり、アドヒアランスがよく、価格が安い。		
その他	院外処方限定の使用		

薬品名	処 リパクレオンカプセル 150 mg lipacreon	メーカー	エーザイ
		申請科	内科
規格	150mg/cap	一般名	パンクレリパーゼ
効能・効果	膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充		
用法・用量	通常、パンクレリパーゼとして1回600mgを1日3回食直後に経口投与する。 なお、患者の状態に応じて、適宜増減する。		
使用目的及び理由	消化酵素の力価を高めることで、国内で初めて膵外分泌機能不全の適応を取得した薬剤。膵外分泌機能低下症例での栄養状態改善や、腹部膨満感・脂肪便等の自覚症状改善効果が期待できる。		
その他			

薬品名	処 コソプト配合点眼液 cosopt	メーカー	MSD
		申請科	眼科
規格	5mL/瓶	一般名	トルゾラミド塩酸塩 / チモロールマレイン酸塩

効能・効果	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症
用法・用量	1回1滴、1日2回点眼する。
使用目的及び理由	チモプトールXE点眼液(1日1回点眼)とトルソプト点眼液(1日3回点眼)の合剤。1日2回の点眼で同等の眼圧下降が得られる。点眼本数の減量や点眼回数の減少にて、コンプライアンスの上昇が考えられる。
その他	

薬品名	劇 処 バイエッタ皮下注 5 μ g, 10 μ g ペン byetta	メーカー	日本イーライリリー
		申請科	内 科
規格	5 μ g(300 μ g)、10 μ g(300 μ g)/キット	一般名	エキセナチド
効能・効果	2型糖尿病 ただし、食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤(ピグアナイド系薬剤又はチアゾリジン系薬剤との併用を含む)を使用しても十分な効果が得られない場合に限る。		
用法・用量	通常、成人には、エキセナチドとして、1回5 μ gを1日2回朝夕食前に皮下注射する。投与開始から1ヵ月以上の経過観察後、患者の状態に応じて1回10 μ g、1日2回投与に増量できる。		
使用目的及び理由	ビクトーザより食後血糖の上昇抑制、体重減少効果が強い。		
その他	院外処方限定の使用		

薬品名	毒 処 ハラヴェン静注 1mg halaven	メーカー	エーザイ
		申請科	外 科
規格	1mg/瓶	一般名	エリブリンメシル酸塩
効能・効果	手術不能又は再発乳癌		
用法・用量	通常、成人には、エリブリンメシル酸塩として、1日1回1.4mg/m ² (体表面積)を2～5分間かけて、週1回、静脈内投与する。これを2週連続で行い、3週目は休薬する。これを1サイクルとして、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。		
使用目的及び理由	チューブリンの重合阻害、微小管の伸長抑制により抗腫瘍効果を示す新規抗がん剤。アンスラサイクリン系、タキサン系抗がん剤を含む前治療歴を有する症例に対しても良好な抗腫瘍効果を示す。		
その他			

薬品名	ムコダインシロップ5% mucodyne	メーカー	杏林製薬
		申請科	小児科
規格	50mg/mL	一般名	カルボシステイン
効能・効果	○下記疾患の去痰 上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核 ○慢性副鼻腔炎の排膿 ○滲出性中耳炎の排液		
用法・用量	通常、幼・小児に、体重kg当り、カルボシステインとして1日30mg(本剤0.6mL)を3回に分割して経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。		
使用目的及び理由	乳幼児患者では散薬の服用が困難な事例も少なくなく、使用要望も少なくないため。		
その他			

薬品名	生 処 シナジス筋注用 50mg synagis	メーカー	アボット
		申請科	小児科
規格	50mg/瓶	一般名	パリビズマブ
効能・効果	下記の新生児、乳児及び幼児におけるRSウイルス (Respiratory Syncytial Virus) 感染による重篤な下 気道疾患の発症抑制 RSウイルス感染流行初期において ・在胎期間28週以下の早産で、12ヵ月齢以下の新生児及び乳児 ・在胎期間29週～35週の早産で、6ヵ月齢以下の新生児及び乳児 ・過去6ヵ月以内に気管支肺異形成症(BPD)の治療を受けた24ヵ月齢以下の新生児、乳児及び幼児 ・24ヵ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患(CHD)の新生児、乳児及び幼児		
用法・用量	パリビズマブ(遺伝子組換え)として体重1kgあたり15mgをRSウイルス流行期を通して月1回筋肉内に 投与する。なお、注射量が1mLを超える場合には分割して投与する。		
使用目的 及び理由	当院では、2歳以下の先天性心疾患児(～12kg)の対象児への投与が毎年増加しており、その場 合、50mg製剤の方が廃棄する残量が少なく済むため。		
その他			

規制区分：毒：毒薬、劇：劇薬、麻：麻薬、向：向精神薬、処：処方せん医薬品
 習：習慣性医薬品、生：生物由来製品、特：特定生物由来製品、放：放射性医薬品